

サステナビリティ

2023～2024年





4

2030年へようこそ



6

REAL ACTIONS™



14

化石燃料由来の
CO₂排出量削減



20

効率的な
リソース
管理



26

より安全な
職場

目次

2030年へようこそ	4
Uddeholm Real Actions™	6
過去のアクション	8
化石燃料フリーへの道	10
Shaping the World®	12
化石燃料由来のCO ₂ 排出量を削減し、2030年までにネットゼロを達成	14
最高のエネルギーとは、エネルギーを決して使わないことです	16
循環型経済-効率的なリソース管理	20
当社のお客様	22
Uddeholmブランド	24
持続可能な職場	26
長期的な価値創造コラボレーション	28
当社のサステナビリティ活動を監視する他社	30



本レポートは、責任ある原料から作られた紙に印刷されています

2030 年へようこそ

2030年、当社の活動分野ではすべてが同じように見えます。しかし、多くの違いがあります。すべてが向上しています。Uddeholmは化石燃料フリーです。

大きな改善は見られませんが、それでも改善はいたるところにあります。当社の生産のあらゆる部分において。現在、製品名や寸法に関係なくUddeholmのすべての製品は化石燃料を使用していません。Uddeholmは化石燃料を使用していないため、お客様は化石燃料由来のCO₂排出量を削減し、持続可能性の目標を達成することができます。

肉眼では見えないもう一つの変化は、Uddeholmの生産が100%化石燃料を使わないエネルギーで行われていることです。現在、当社は、化石燃料を使わないエネルギーガスと革新的な制御技術を使用して排出量を削減し、エネルギー効率を高めたいと考えている他の業界の模範となっています。

フォークリフトや社内輸送など、すべてが以前と同じように見えるかもしれませんが、大きな違いがあります。現在、Uddeholmの社内輸送はすべて100%化石燃料フリーです。化石燃料によるCO₂排出の時代は過去のものとなりました。

もちろん、さまざまな背景や状況を持つ人々と出会いますが、それぞれが独自の価値を持っています。目にする人々は、誇りとエンパワメントの感覚を醸し出し、熱心にまた計画的かつ安全に仕事に取り組んでいます。AIと自動化は当社のプロセスに統合されています。

当社は持続可能なバリューチェーンを構築しており、サプライヤーと一緒に挑戦的な共通の目標と活動を設定しています。当社は、スコープ3内の化石燃料由来のCO₂排出量の開発と削減を加速するために、新しいバリューチェーンを構築する勇氣を持っています。これは当社が日々果たしている責任です。

今日、お客様に化石燃料フリーの製品を提供することは言うまでもありません。また、お客様に工具寿命の延長、生産性の向上、最終製品の品質向上を提供するソーリングソリューションにより、持続可能な製品を提供しています。当社は、お客様の競争力を日々高めていきます。それが当社の約束です。

現在および将来の世代のために、世界の製造業とともに世界を形作るという当社の意欲とビジョンは、仕事と取り組みに役立っています。もちろん課題もありました。世界をより良い場所にしようとするときには、常に課題があります。しかし、2030年の今、私たちはサステナビリティへの取り組みにおいて大きな進歩を遂げたと誇りを持って言うことができます。

Pär Emanuelsson (ペール・エマヌエルソン)、Uddeholmマネージングディレクター

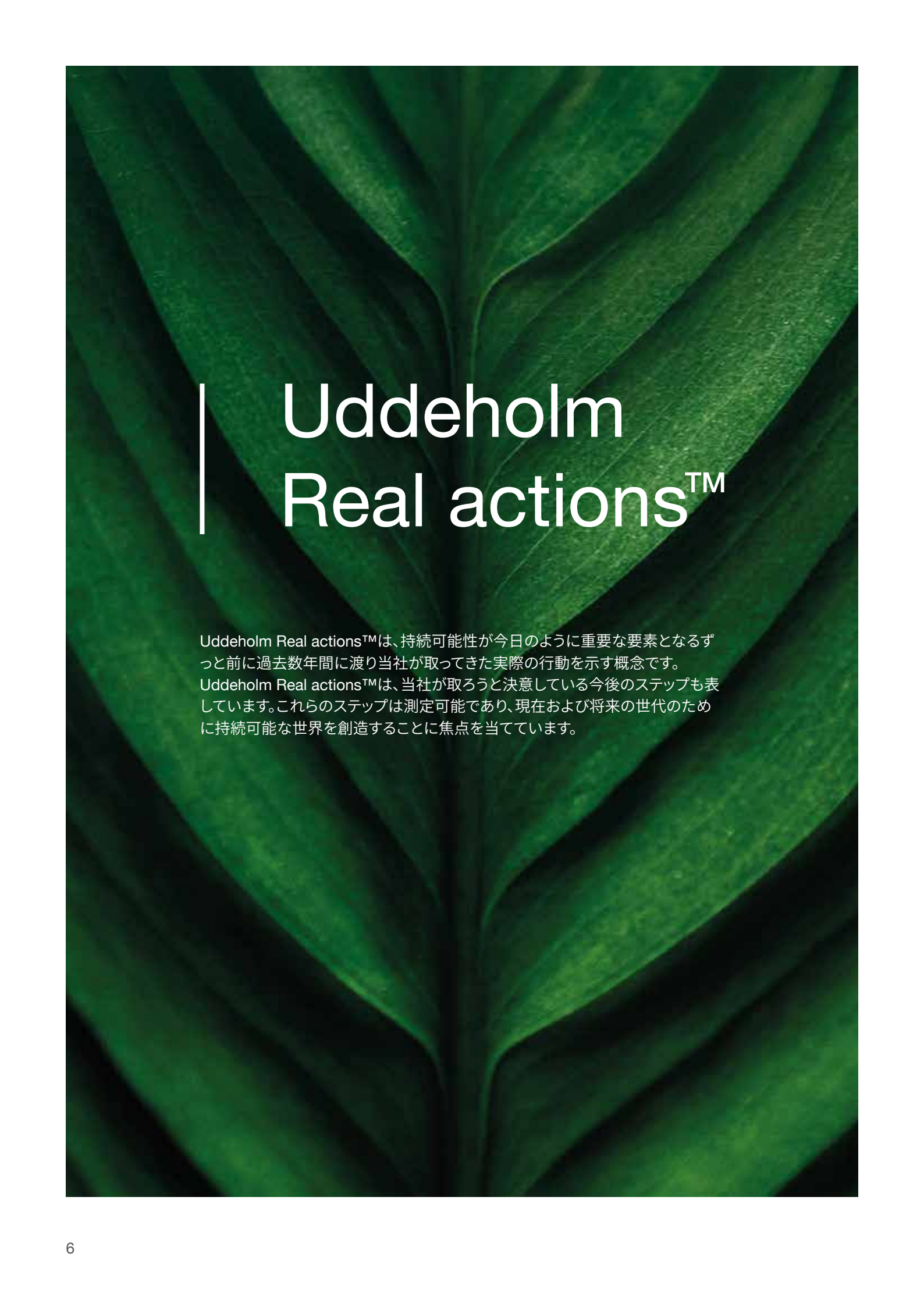




Uddeholm Real actions™ | 2030

- Uddeholmの生産と製品は、スコープ1および2に基づいて、化石燃料を一切使用していません。
- 当社の職場は、すべての人々が平等な価値を持ち、エンパワメントとエンゲージメントによる持続可能な成長を特徴としています。
- 当社の製品は、世界中のお客様に持続可能性の目標を達成するために必要な条件を提供します。

これは、簡略化されたサステナビリティレポートです。企業責任レポートの全文をご参照ください。

A close-up photograph of several large, vibrant green leaves, likely from a plant like a peace lily, filling the entire background. The leaves are layered, with some in sharp focus and others slightly blurred, creating a sense of depth. The lighting is soft, highlighting the veins and texture of the foliage.

| Uddeholm Real actions™

Uddeholm Real actions™は、持続可能性が今日のように重要な要素とならず
っと前に過去数年間に渡り当社が取ってきた実際の行動を示す概念です。
Uddeholm Real actions™は、当社が取ろうと決意している今後のステップも表
しています。これらのステップは測定可能であり、現在および将来の世代のため
に持続可能な世界を創造することに焦点を当てています。

UDDEHOLM REAL ACTIONS™の概要



環境



60%
1990年以降の化石CO₂
排出量の削減



100%
化石燃料フリー
電気



≤ 98%
84-98%
リサイクル素材



100%
冷却水の回収



経済



100%
行動規範とコンプライア
ンストレーニング



317
Uddeholmは317件の国際
特許を取得しています



507
世界中のアクティブブランド



1668年
1668年以來のイノベーションと顧客重視



社会



25%
Uddeholmの女性管
理職



44%
LTIFR (休業災害度数率)
の削減過去1年間



95%
ウェルネスプレゼンス-心身の健
康に重点を置く



100%
地域社会との連携

過去のアクション

Uddeholmは、1990年以降、化石燃料によるCO₂排出量を60%削減しました。当社ではUddeholm Real actions™と呼んでいます

1961

持続可能性は当社にとって新しい概念ではありません。1961年より製鉄所では電気炉を使用しています。

2012

石油・プロパンの液化天然ガスへの転換（LNG、化石CO₂を20%削減）。

2018

Uddeholmの生産はLBGによって2日間にわたって行われました。



2021

気候中立週間を開催し、気候中立な工具鋼を生産する世界初の企業になりました。

2022

年間LNG量の最大30%を化石フリーLBGに置き換えました。これにより、炉の電化に加えて、化石CO₂の排出量が30%削減されました。

2023

年間LNG量の最大50%が化石燃料を使用しないLBGに置き換えられました。
炉の電化などのエネルギー効率化投資により、化石燃料によるCO₂排出量を7,500トン削減しました。

Uddeholm
Real actions™

化石燃料フリーへの道

Uddeholmは、顧客の競争力を高める持続可能なツールソリューションを提供することで、市場で好まれる選択肢となります。さらに、Uddeholmの製品は、市場で最も気候変動への影響が少なく、お客様が環境への影響を最小限に抑えるのに役立ちます。

Uddeholmは、化石燃料を使用しない工具鋼の製造と提供の道のりをすでに始めています。当社の生産システムと地理的な位置は、この開発をリードするのに理想的な立地条件にあります。この目標を次の3つのステップに分けています。

2030

化石燃料を使用しない生産と、当社の流通による二酸化炭素排出量の大幅な削減

2035

気候中立なバリューチェーン

2040

気候中立なライフサイクル



持続可能な開発のための グローバル目標

国連の「持続可能な開発目標」をはじめ、持続可能な開発に積極的に取り組んでいます。将来の世代が私たちと同じ機会を得られるような生き方をしたいと願っています。国連のSDGsは、世界の国々がこれまでに採択した中で最も野心的で持続可能な開発アジェンダであり、2030年までに達成する必要があります。

Uddeholmでは、素材分析を行い、事業にとって最も重要で、最も大きな影響を与えるSDGsを選定しています。重点を置く6つのターゲット分野は、当社の戦略と持続可能性の取り組みの中核です。

13	気候変動対策 - 最も挑戦的なSDGです。
9、12	産業、イノベーション、インフラ、責任ある消費と生産。循環型産業を特定するだけでなく、持続可能なビジネス戦略を組み込んだ2つの目標。
3、8、10	人に焦点を当てた3つの基本的な目標:すべての人に健康とウェルビーイング、働きがいのある人間らしい仕事と経済成長、そして不平等の縮小。



次世代のための製造ソリューション

SHAPING THE WORLD®

- 社会的、環境的、経済的持続可能性を生み出すために行動し、支援します
- 製造業向けに最も競争力があり、資源効率の高いソリューションを製造、販売しています
- イノベーションと優れた開発ベースを通じて、グローバルなリーダーシップを生み出し、維持します
- 地元に強く根ざしています





UDDEHOLM社について

Uddeholmは、日常生活のいたるところにある製品を形作る鋼を製造しています。世界を形作る当社は、人と環境の両方に公平な持続可能な方法で世界を形作りたいと考えています。これにより、現在、そして次の世代のために世界を形作り続けることができます。

自動車、テレビ、コンピューター、携帯電話、パッケージなどの製品はすべて、工具鋼に由来します。90カ国以上の10万人以上のお客様にUddeholmの工具鋼を購入いただいています。Uddeholmの歴史は1668年にさかのぼり、2007年以来、Uddeholmはオーストリアのリンツに拠点を置く上場鉄鋼グループvoestalpine AGの一部であり、約55,000人の従業員を擁しています。

HPM事業部におけるサステナビリティ

inSPireは、voestalpine High Performance Metals部門内の持続可能性の枠組みであり、現在および将来の世代に長期的な結果を保証するために、持続可能性のすべての要素を日常業務に統合するという野心的なビジョンを持っています。

また、inSPireを通じて、部門内で明確かつ挑戦的な持続可能性目標を設定しています。



2029年までに事業活動におけるCO₂ 排出量 (スコープ1、2) を50%削減



voestalpine グループの目標である「2029年までにサプライチェーンにおけるCO₂ 排出量 (スコープ3) を25%削減」に貢献



2030年までに、リサイクルされたスクラップと二次原料の90%以上を生産プロセスで使用



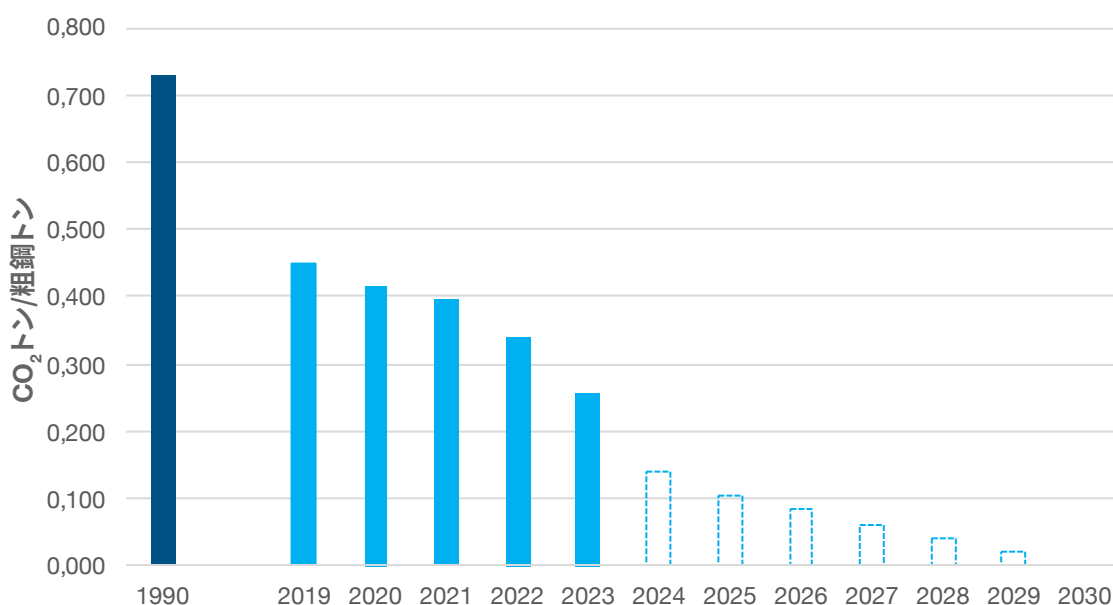
持続可能な計画

化石燃料由来のCO₂排出量を削減し、 2030年までにネットゼロを達成

Uddeholmは数十年にわたり、化石燃料由来の二酸化炭素排出量を削減するための長期計画に取り組んできました。基準年である1990年以降、Uddeholmの化石燃料由来のCO₂排出量は60%以上減少しました。2019年以降、減少率は40%です。しかし、取り組みはこれで終わりではありません。

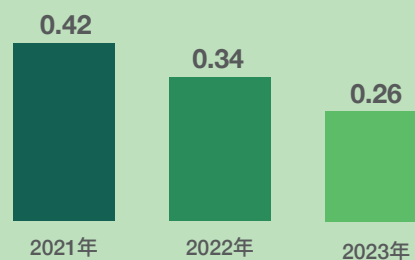
せん。現在、Uddeholmの化石燃料由来のCO₂排出量は低いレベルですが、化石燃料由来の資源を完全になくするという課題に挑んでいます。2030年までに、Uddeholmはスコープ1及び2の化石燃料由来のCO₂排出量をゼロにする予定です。

生産された鋼材のトン当たりのCO₂排出量トン



生産トン当たりの化石燃料由来CO₂トン

Uddeholmは、天然ガスを化石燃料を使用しないガスに徐々に置き換え、炉を化石燃料を使用しない電力で電化することにより、化石燃料由来のCO₂排出量を削減するための包括的で野心的な計画を持っています。Uddeholmは、2020年と比較して鉄鋼生産トン当たりの化石燃料由来CO₂排出量を38%削減しました。



社内輸送

Uddeholmの社内輸送業務の50%以上は化石燃料を使わず、化石燃料を使わない電力や再生可能燃料を使用しています。合計154台の移動車両があり、そのうち90台がディーゼルで走行し、残りの64台は電気自動車です。Uddeholmが2018年から購入したディーゼルには、HVO100およびRMEと混合された42%の再生可能燃料が含まれています。これにより、社内輸送によるCO₂排出量を42%削減しました。社内輸送は、事業の化石燃料由来CO₂総排出量の約4%を占めています。



7,500

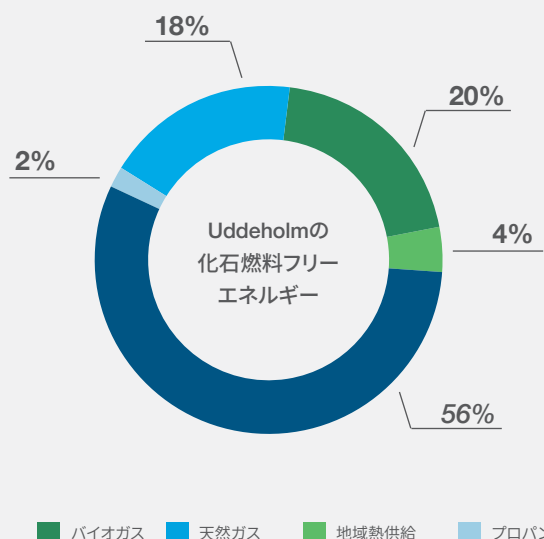
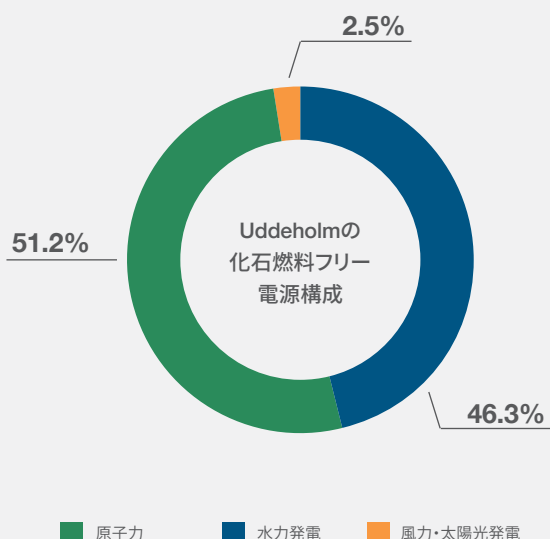
2023年、Uddeholmは化石燃料由来のCO₂排出量を7,500トン削減



最高のエネルギーとは、 エネルギーを決して使わないことです

二酸化炭素排出量の削減とスマートなエネルギー使用は密接に関連しています。エネルギーの使用、影響要因、資源効率の高いエネルギー使用に対する意識の高まりは、今後も当然のことであるに違いありません。今日 Uddeholm で使用されているエネルギーの種類は電気、LPG、天然ガス、バイオガス、地域熱供給です。電気と地域熱供給の大部分は、化石燃料を使用しない資源から供給されています。天

然ガスと少量のLPGは化石燃料由来のものですが、長期的には完全な代替を目指して、その使用量を最小限に抑えるよう努めています。2023年4月1日以降、化石天然ガスの50%が化石燃料を使用しないバイオガスに置き換えられ、操業による化石燃料由来のCO₂排出量が大幅に削減されました。

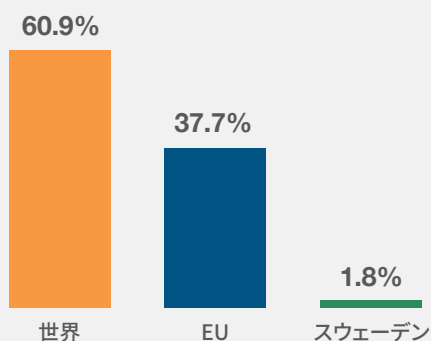


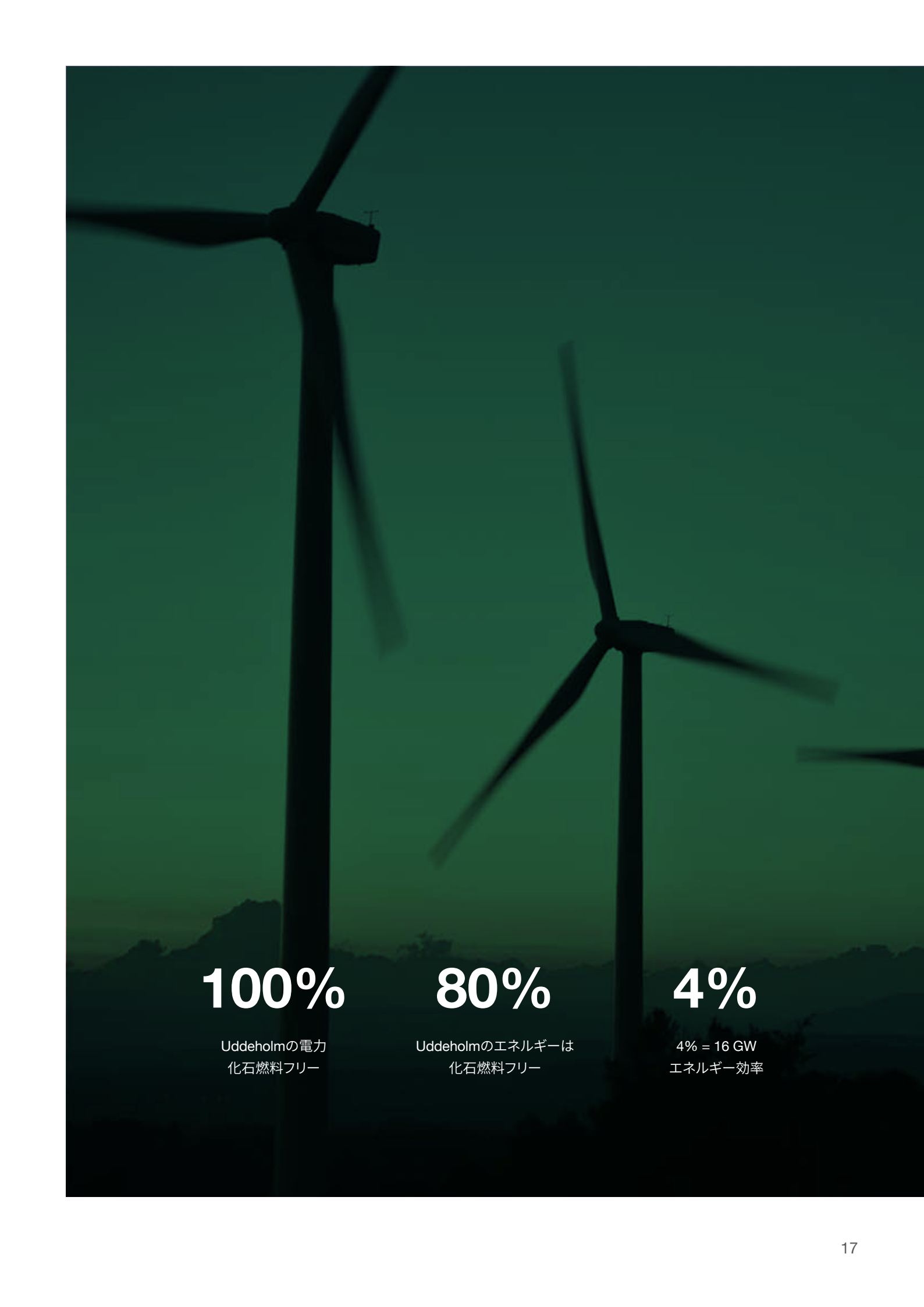
Uddeholmの既存の電力構成は、原子力(51.2%)、水力(46.3%)、風力・太陽光(2.5%)で構成されています。約50%が再生可能エネルギーです。電力価格が高い場合やスウェーデンの送電網が不足している場合は、電力集約型のプロセスをシャットダウンするオプションを備えた電力規制の実施を継続しています。

化石燃料を使用しない電力

Uddeholmに供給される化石燃料を使用しない電力構成は、北欧の発電所から供給されています。化石燃料を使用しない電力は、スウェーデンや他の北欧諸国にとって独自の利点となっています。

化石燃料による発電の割合2021-2022年
出典: ekonomifakta.se





100%

Uddeholmの電力
化石燃料フリー

80%

Uddeholmのエネルギーは
化石燃料フリー

4%

4% = 16 GW
エネルギー効率

A dark, atmospheric photograph of a wind farm at dusk or dawn. The silhouettes of several wind turbines are visible against a deep green and blue sky. A large, dark vertical shape, possibly a tower or a shadow, dominates the center of the frame.

「2023/24年には、23.2GWh
以上の電力と5,000トンの
CO₂削減を実現した省エネプ
ロジェクトが実施されました。
最大の節約は、炉をガスから
電気に変換することと、炉のプ
ロセス制御によって得られま
した」

Uddeholm
Real actions™

2030年の目標に向けた「気候・エネルギーロードマップ」が策定され、すでに多くの活動が実施されています。エネルギー消費を削減し、化石燃料を使用しない生産に切り替えるために、Uddeholmは3つの主要な方針に沿って取り組んでいます。

電化

天然ガス炉の電化は、最高の効率が見られるため、技術的に実現可能な場合には最適な選択肢です。これまでに、Uddeholmの電化計画に従って、8つの加熱炉が天然ガスから電気に変換され、さらに新しい電気炉が1台設置されました。

当社は、負荷の高いスウェーデンの送電網の状況を改善する作業に参加するのは当然と考えています。これは、スウェーデンが計画的に電化を実施できる国としての前提条件である周波数制御市場に参加することで実現しています。地域の送電網所有者とともに、工場に供給される電力の容量を拡大する作業を開始しました。

合理化

Uddeholmの目標は、毎年省エネプロジェクトを実施し、選択した基準年におけるエネルギー使用量の少なくとも4%に相当する節約を実現することです。

これは、エネルギーマッピングや運用における損失の特定など、組織が提案する活動をサポートするために進行中のプロセスです。機器の購入や一般的に投資を行う際に考慮する必要がある重要な側面でもあります。しかし、すでに所有している機器の管理や、操業条件の最適化など、可能な限りエネルギー効率の高いビジネスを目指すことも重要です。



変換

Uddeholmは、スカンジナビアで石油とプロパンから液化天然ガスに転換した最初の鉄鋼メーカーであり、これにより、今日化石燃料を使用しないバイオガスの使用が可能になりました。化石燃料を使用しないバイオガスは、ノルウェーから液体の形で供給されます。将来のエネルギー供給を確保するため、電力、天然ガス、バイオガスなど、化石燃料を使わないガスなど、さまざまな選択肢に取り組んでいます。

2030年までに化石燃料を使わないという目標を達成する上で重要なことは、将来的には、現在不可能な、複数の化石燃料を含まないガスを1つのシステムに混合できるようにすることです。化石燃料を含まない複数のガスを混合するには、混合システムが必要ですが、当社はこの度、そのテストを行う機会を得ました。このイノベーションは、複数の異なる化石燃料を含まないエネルギーガスを1つのシステムで柔軟に混合できることと、混合物の組成をリアルタイムで制御できることにあります。これにより、Uddeholmを特定のエネルギーガスに縛り付け、供給不足や価格変動を引き起こす可能性のある誤った技術選択に巻き込まれるリスクを冒すことなく、化石燃料からの脱却へ迅速な移行が可能となります。テストは2024年秋に実施されます。

将来の合理化に向けた、最大のエネルギー効率対策は次のとおりです。

- 電化
- 監視とエネルギー最適化のためのデジタルツール
- 炉の交換または改修

今後のエネルギー戦略には、低温炉を電化し、化石ガスを化石燃料を含まないエネルギーガスの混合物に置き換えるという目標が含まれています。当社は、エネルギーモニタリング (Energy Mind) のデジタル化のプロセスを開始しました。これにより、消費量を大幅に制御できるようになり、AI (人工知能) を導入しエネルギー消費と電力出力を最適化することを目指します。

+80%

Uddeholmのエネルギーは
現在は化石燃料フリー

循環型経済

効率的な リソース管理

最高の原材料とは、何度も何度もリサイクルされる素材です。循環型経済は、直線型経済の正反対です。製造、購入、廃棄する代わりに、製造されたものはすべて可能な限り長く使用されます。最終的に使用済のアイテムは、可能な限り再利用及びリサイクルされます。循環型経済は循環性に基づいており、主に材料を再利用するだけでなく、リサイクルすることで経済的および環境的価値を最適化することが含まれます。人類は約9,000年前から金属を採掘し、加工してきました。

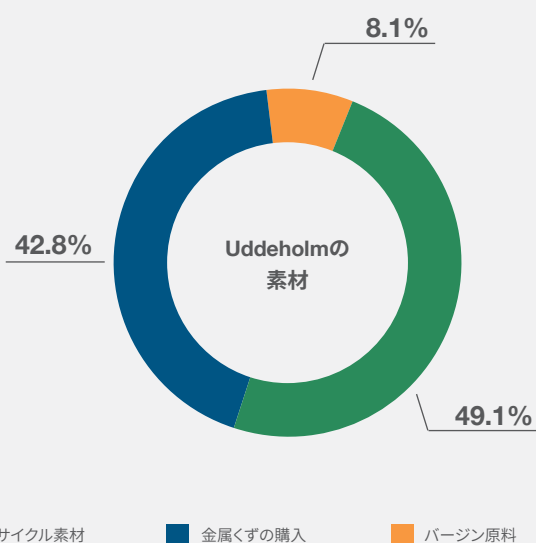
鋼材は、社会で最もリサイクルされ、再循環される建設資材です。リサイクルして何度でも使用できます。鋼材は、ほぼすべてのものをリサイクルできるサイクルの一部を形成しています。スクラップベースの製造の場合、前の段階で廃棄されたスクラップは再利用されます。世界の鉄鋼生産の約3分の1は、リサイクルとスクラップベースのプロセスに

基づいています。電気エネルギーを必要とする電気アーク炉は、主に鉄スクラップを溶かすために使用されます。スクラップを原料として使用する場合、生産された鋼材のトン当たりkWhで計算される比エネルギー消費量は、鉱石ベースの鉄鋼製造に必要なエネルギー消費量の5分の1に過ぎません。

しかし、当社はコアビジネス（リサイクルに基づく）を得意としているだけではありません。この生産工程では、約30,000トンの廃棄物が発生します。スラグ、レンガ、酸化物スケールなどの落下廃棄物のほとんどは再利用されています。埋め立て地に行くのはごく一部です。当社はどのようにこれを管理してきたのでしょうか。工場及び社会との長期にわたる部門横断的な取り組みと、製品の特性に関する慎重な分類と知識を通じてです。

リサイクル素材

Uddeholmの製品はリサイクル素材で構成されています。リサイクルされた投入材料は、バージン原料を避けるのに役立ち、地球の天然資源を保護していることを意味します。



当社製品のリサイクル比率の例：

Uddeholm UHB 11	98.1%
Uddeholm Formax M	97.6%
Uddeholm Holdax	97.1%
Uddeholm Arne	96.7%
Uddeholm Impax Supreme	96.6%
Uddeholm Rigor	96.1%
Uddeholm Bure	96.0%
Uddeholm Orvar 2M	95.9%
Uddeholm Calmax	95.9%
Uddeholm Vidar 1 ESR	95.7%
Uddeholm Skolvar	95.2%
Uddeholm Sleipner	94.6%
Uddeholm Nimax	94.6%
Uddeholm Sverker 21	94.6%
Uddeholm Orvar Supreme	94.5%
Uddeholm QRO 90	92.8%
Uddeholm Tyrax ESR	89.7%
Uddeholm Vidar Superior	89.1%
Uddeholm Vanadis 4 Extra	88.9%
Uddeholm Ramax HH	88.3%
Uddeholm Dievar	87.7%
Uddeholm Caldie	87.0%
Uddeholm Stavax ESR	87.0%
Uddeholm Unimax	86.9%
Uddeholm Idun	85.8%
Uddeholm Mirrax 40	85.8%
Uddeholm Vanadis 23	84.3%
Uddeholm Vanadis 8	82.9%
Uddeholm Corrax	76.7%
Uddeholm Elmax	74.7%
Uddeholm Vancron	70.8%
Uddeholm Vanax	66.6%

UDDEHOLMの冷却水は 100% 自然のエコサイクルに戻さ れます

Uddeholmは、プロセスでの冷却のために1,100万立方メートルの水を借りています。900万立方メートルの水は、Uddeholmの生産プロセスに直接触れることなく返却されます。

残りの水は処理を受けヴェルミュレン湖に戻されます。水を戻す前に、徹底的に検査します。毎日、30以上の水サンプルが採取されています。すべての冷却水は、借りた時と同じようにきれいに返却します。

Uddeholm
Real actions™

冷却水回収
100%



91.9%

Uddeholm製品のリサイ
クル材料の平均比率

クローズドループ

Uddeholmはすでにクローズドループの原則に従って作業を行っており、廃棄された工具をお客様から買い戻しています。廃棄された工具の買い戻しは困難な作業であり、当社とお客様が各工具の原料となる鋼種を区別できる必要があります。これらの鋼種は、時には解体後に選別してから、循環型エコサイクルに戻す必要があります。Uddeholmでは、リサイクルされたスクラップの割合をさらに高めることに意図的に取り組んでおり、これはお客様、販売会社、外部のスクラップ業者と共同で行われています。

当社の責任

当社のお客様

高性能工具鋼の市場のリーダーとなり、優先的に選ばれるためには、強力なブランドが必要です。当社のお客様には、工具が製造または使用される場所を問わず、お客様を成功に導く持続可能なソリューションを提供していることを知っていただく必要があります。これにより、お客様に付加価値が生まれ、競争力が強化されます。調達と販売の両面で、当社グループの行動規範や倫理的、形式的要件を考慮

し、資材の原産地を追跡しながら事業活動を行います。Uddeholmとその親グループであるvoestalpineは、コンプライアンスと行動規範、および内部告発システムに関連する積極的な手順を実施しています。

- 行動規範
- 企業行動
- 反トラスト
- 取引先との取引に関するグループ指令
- コンプライアンスマニュアル
- 予防コンプライアンスマニュアル
- 予防コンプライアンスプログラム
- 資本市場コンプライアンス指令

当社の行動規範は、組織内のすべての人、従業員、請負業者、代表者がどのように行動すべきかを説明する一連の規則です。

社内外の法令を遵守します。公正な競争は極めて重要であり、汚職、贈収賄、不適切な贈答品の受領を容認しませ

ん。マネーロンダリングは禁止されており、疑わしい活動はすべて報告する必要があります。

敬意と誠実さは基本となるものです。利益相反を回避し、会社情報を秘密に扱います。当社のコミュニケーションは、オンラインでもオフラインでも、透明で正確です。

持続可能な調達

国際的に事業を展開する企業として、当社はサプライチェーンの上流と下流の両方で大きな環境的および社会的責任を負っています。これが何を意味するかを認識しており、したがって、とりわけ、原材料と一般的な購入の綿密な監視に依存しています。当社はサプライヤーとの継続的な対話と緊密な協力関係を維持しています。協力して、スコープ3の化石由来のCO₂排出量削減を加速させるため、挑戦的な目標を設定し、活動してきました。受け取った情報やデータの検証に努めるとともに、CO₂排出量削減のためにどのような改善を行ったか、実施しているか、または今後実施する予定か、また高いESG※要求事項を確実に満たすために、サプライヤーと緊密な対話を続けています。取り組みはすでに具体的な成果を生み出しており、スコープ3の化石燃料由来のCO₂排出量の削減に貢献しています。これは、CO₂排出量の少ないサプライヤーを選択すること、既存のバリューチェーンを発展させることの両方によって実現されています。

* ESG: 環境、社会、ガバナンスの要因。この要件は、企業の事業に関する一連の基準を構成し、投資家が企業が社会や環境に与える影響、およびそれがどの程度適切に管理されているかを評価するのに役立ちます。



紛争鉱物

紛争鉱物という用語は、武力紛争、児童労働、汚職に関連する可能性のある4つの特定の鉱物を対象としています。これらの鉱物は、金、スズ、タンタル、タングステンであり、総称して「3TG」と呼ばれています。コバルトを含む他の鉱物も同様に扱われます。

タングステン - Uddeholmは、既存のガイドラインに従うように注意を払い、該当する要件を満たすサプライヤーからのみ購入します。当社が使用するタングステンの大部分はリサイクルされています。

コバルト - Uddeholmが購入するコバルトは、主にリサイクルされています。残りの少額は、該当する要件を満たすサプライヤーから調達します。

鉱物の採掘には非常に多くの課題があることから、これらの課題についてグループ内で連携して取り組んでいます。適用されるガイドラインを遵守することは基本ですが、不正行為を是正するために、業界内の焦点を絞ることを目指しています。

ドッド・フランク法は、アフリカの紛争地帯を原産地とする合金や鉱物の取引を阻止するために、2012年に施行されました。ドッド・フランク法の要件を満たすために、Uddeholmは紛争鉱物の可能性のすべてのサプライヤーに連絡を取り、これらの地域からの鉱物を受け入れないことを伝えています。Uddeholmは、これらの地域で事業を展開している企業とは一切取引を行っておりません。

UDDEHOLM ブランド

1668年以來のイノベーションと顧客重視

当社のブランドは、持続可能性の観点からも含め、常に開発の最前線に立つ精神を持っています。Uddeholmは世界中で507件の商標登録を行っており、共通の商標を作成、維持、積極的に保護することを最も重要としています。積極的なブランディングの取り組みにより、侵害件数を削減しま

した。2020年以降、進行中の商標侵害 3,830 件を解決しました。昨年2023年には、430件を解決しました。共通のブランドを保護することは、お客様、販売ネットワーク、そして当社自身に価値をもたらします。

Uddeholmブランドは 1668 年から存在しています。当社のブランドは、現在および将来の世代の両方において、お客様にとっての品質と持続可能性を保証するものです。

国際特許317件

お客様の競争力を高めるためには、高性能工具鋼の製品リーダーとなり、製造業の発展を理解する必要があります。さらに、革新的で、高い起業家精神を発揮することも必要です。当社は常に競合他社よりも高い価値を提供し、お客様の事業分野に関する十分な理解、知識、専門知識を備えた完全なパートナーとして認識されています。317件の国際特許により、革新力と知識を保護し、品質を確保しています。



1668

1668年以來のイノベーションと顧客重視



317

Uddeholmは317件の国際特許を取得しています



507

世界中のアクティブブランド



100%

先進的で包括的で持続可能なブランド



100%

行動規範



100%

人と環境のための持続可能な鉄鋼

持続可能な 職場



Uddeholmは地域で最も望ましい雇用主であり、UPS（Uddeholm Production System）の支援を受け、包摂し、力を与え、発展させています。

Uddeholmの将来の発展は、スキル、経験、エンゲージメントに貢献する従業員に大きく依存しています。当社の従業員は、個人の成長が会社の持続可能な発展と連携する方法を見つけることに、当社が取り組んでいることを知っておく必要があります。Uddeholmでは、多様性を強みであり、発展と成功の前提条件であると考えています。Uddeholmは、現在および将来の世代において、すべての人にとって持続可能な職場です。

新入社員総数	53	100.0%
新入社員女性	12	22.6%
新入社員男性	41	77.4%

安全性

- 安全は常に最優先です。当社での業務は、仕事に誰も怪我をしないように、そしてお互いの安全を気遣う方法で行われています。事故に対するビジョンゼロを持っています。
- 価値観（尊敬、信頼、顧客重視、価値創造）に基づいて企業文化を構築し、これらはあらゆる状況における私たちの行動を特徴づけるものとしています。
- 人権侵害のないよう、積極的に取り組んでいます。
- 公正で包摂的な社会に貢献します。
- 当社の従業員は、Uddeholmが労働環境に関連する意思決定において、社会的持続可能性の側面を重視していると確信しています。心身の健康に予防的に取り組んでいます。



95.3%

出勤

LTIFR – 休業災害度数率

2018 / 19年	2019 / 20年	2020 / 21年	2021 / 22年	2022 / 23年	2023 / 24年
10.2	6.0	5.0	7.3	4.1	2.3



女性社員比率	16.5%
女性管理職比率	24.4%

育児休暇

育児日数 合計	3,459
育児日数 男性	2,129
育児日数 女性	1,330



長期的な 価値創造 コラボレーション

Uddeholmは、地元にも強く根ざしています。これは目新しいことではありません。実際、私たちは355年以上前に設立を始めました。以来、市町村、町、人々とともに成長してきました。当社は常にハグフォース周辺地域にありました。

1668年にUddeholmの小さな町で設立され、その後短期間ガイヤースホルムで活動し、最終的に1878年にハグフォースにたどり着きました。ここには、当社のDNAがあり、Uddeholmの精神があり、地元の強いルーツがあります。



UDDEHOLM・アリーナ

当社は、多目的スポーツおよびイベントアリーナである Uddeholm・アリーナの誇り高いネーミングライツスポンサーです。スポンサーシップは、ハグフォース市とその学校活動と緊密に協力して行われます。



緊急サービスとの連携

毎年、救急隊はハグフォースのUddeholm施設内で、すべてのシフトでさまざまなシナリオを訓練しています。その目的は、実際の緊急時の対応時間を短縮することです。救急隊がとても近くに存在し、当社の施設に精通しているという点で、当社にとって大きな利点です。救急車サービスとの協力も良好で非常に重要です。長い間、救急車の専用スペースを確保しており、救急隊員が77ヘクタールの敷地内を迅速に移動できるようにしています。また、警察との協力関係が確立されており、当社の境界保護の一環として、また事件が発生した場合に事態を簡素化できるようにしています。

70%

のハグフォースの非常勤消防士は、Uddeholmで働いています。

合計20人の非常勤消防士がハグフォース消防署に配属されています。そのうち14人はUddeholmで働いており、これは大きな利点であると考えています。消防士は当社のプロセスを非常に注意深く見守っており、インシデントが発生した場合の優れたリソースとなっています。

地域住民集会

地域住民が最新の開発状況を把握している大切な隣人であると感じられるように地域社会とのミーティングを実施しています。企業として、経験、重要な問題、フィードバックについて直接情報を得ています。地域住民の集会は、年に2〜3回、自治会、家主、ハグフォース市、Uddeholmの代表者が参加して開催されます。

地方自治体や企業との緊密な連携

長年にわたる敬意ある協力関係を通じて、地方自治体やハグフォース市と強い絆で結ばれています。同じことが、ハグフォース市内で活動する企業や組織にも当てはまります。その多くはUddeholmの重要なサプライヤーでもあります。



当社はハグフォース市に投資しています

スポンサーシップは、地域への関与と存在感にとって重要な部分です。当社はスポーツと文化を後援しています。女性と男性。子供と若者。スポンサーシップの受益者に共通するのは、ハグフォースに拠点を置いていることです。



ハグフォースでのEV充電

UDDEHOLMがそれを可能にします

Uddeholmでは、より広い視点から細部に至るまで、環境への影響を最小限に抑えることに取り組んでいます。電気自動車の販売が増加するにつれて、充電ステーションの必要性も高まっています。ハグフォースの住民とUddeholmの訪問者がEV充電できるように、12箇所の充電ステーションを設置しました。

テクニッカラレッジ

テクニッカラレッジは、ハグフォース市とムンクフォルス市のテクノロジー企業と、ハグフォースのエルプストランド高校が共同で設立した高等専門学校です。技術、産業工学、科学、電気およびエネルギープログラムを受講する学生を対象としています。



その他のモニター

当社の サステナビリティへの取り組み

Uddeholmの全員がUddeholmのサステナビリティへの取り組みに責任を負っています。当社も同様に責任があります。当社はこれをチャンスと捉え、事業のあらゆる分野でこの責任を日々受け入れています。もちろん、サステナビリティ活動やサステナビリティ目標のフォローアップも行っています。さらに、スウェーデン当局は当社の事業を定期的にチェックしていますが、当社はこれを歓迎し、評価し、当然のことと考えています。

当社は、国連、ISO、グリーンハウス議定書（GHP）、Responsible Steel、パリ協定、グリーンディール、EU、スウェーデンの気候目標、スウェーデンの法律、inSPire など他の団体や組織の持続可能性活動、ガイドライン、法律を監視しており、またその一部は私たちを監視しています。

また、スウェーデン当局などの第三者による監査を通じて、当社の言動を監視している団体もあります。

ISO認証によるUddeholmの第三者監査：ISO 9001品質基準は30年間、ISO 14001環境基準は20年間認証を取得しています。

ISO認証とは、ISO（国際標準化機構）が策定した特定の分野における規格と呼ばれる一連の規制に準拠することです。ISO認証の目的は、業務を継続的に開発して改善することです。ISO認証を取得したということは、その企業でマネジメントシステムが運用されていることを意味します。管理システムは、組織の業務を計画、管理、チェック、フォローアップ、評価するためのツールです。上級管理職は、管理システムを使用して、従業員の日常業務を支援する確立された手順に従って業務が運営されていることを確認します。ISO認証を取得するということは、企業が認証取得を選択した規格の要件に準拠していることを証明するために、独立した第三者によるレビューを受けることを意味します。承認された検査の後、ISO規格の要求事項が満たされている証拠として証明書が発行されます。その後の監査は、要件への継続的な準拠を確認するために毎年実施されます。

ISO 9001	1992年
ISO 14001	2002年
ISO 45001	2021年（旧OHSAS 18001、2014年）
ISO 50001	2013年



UddeholmはEU ETS (排出量取引)に参加しており、以下を含むCO₂ 排出量に関して第三者から毎年監査を受けています。

プロセス排出

- ・ 製鉄所からのCO₂排出量のモニタリング:電気アーク炉および取鍋炉での製錬原料(金属スクラップおよび合金)からの鉄鋼生産。
- ・ 製鉄所からのCO₂排出量のモニタリング:黒鉛電極の使用。

燃焼による排出:

- ・ 燃料の燃焼によるCO₂排出量のモニタリング:LPG、天然ガス、バイオガスの生産および施設の暖房用。

パリ協定

パリ協定は、2016年に発効した世界的な気候協定です。協定の核心は、温室効果ガスの排出を削減することにより、地球温暖化を制限することです。

パリ協定は、気候変動防止策に関する世界的な条約である国連気候変動枠組条約 (UNFCCC) と連動しています。パリ協定を正式に採択したすべての国は、国際法に従ってパリ協定に拘束されます。この協定は、すべての国が協定の目標を達成するために能力を最大限に発揮するという共同責任と信頼に基づいています。パリ協定を通じて、各国は、例えば、以下を実施しています。

- ・ 地球の平均気温の上昇を2°Cを十分に下回る水準に抑え、1.5°Cを超えないようにすること。
- ・ 気候変動の有害な影響に適応する能力を高めること。
- ・ これらが温室効果ガスの排出削減と結びつくことができるように、資金の流れを適応させること。
- ・ また、すでに大量の温室効果ガスを排出している富裕国が主導権を握り、世界平均よりも迅速に移行を行うような協定も実施されなければならないこと。

グリーンディール

グリーンディールは、EUにおける持続可能な経済のためのロードマップです。気候変動と環境破壊は、ヨーロッパと世界の持続に対する脅威を表しています。そのため、EUは、近代的で資源効率が高く、競争力のある経済に移行するための新たな成長戦略を策定しています。

このタクソノミーは、環境的に持続可能な投資を特定するためのツールであり、EUの新たな成長戦略の一環として導入されています。タクソノミーレポートには、環境的に持続可能な経済活動に由来する売上高/設備投資/運用コストの割合が含まれます。分類に関する主要業績評価指標は、グループ全体のレポートで見ることができます。

1. 気候変動の抑制
2. 気候変動への適応
3. 水と海洋資源の持続可能な利用と保護
4. 循環型経済への移行
5. 汚染の予防と管理
6. 生物多様性と生態系の保護と回復

気候目標、スウェーデン

遅くとも2050年までに、EUは排出量と吸収量のバランスを取り、温室効果ガスの排出量を実質ゼロにする必要があります。2045年までに、スウェーデンは大気中への温室効果ガスの正味排出量をゼロにし、その後はマイナスの排出量を達成する必要があります。この目標は、スウェーデンの領土からの温室効果ガスの排出量が、2045年には基準年である1990年よりも少なくとも85%削減される必要があることを意味します。残りの排出量をゼロにすることは、いわゆる補足措置によって達成される可能性があります。この目標を達成するために、化石由来の二酸化炭素の回収と貯留は、合理的な代替手段がない場合の措置として取り上げられる可能性があります。



次世代のための製造ソリューション

SHAPING THE WORLD®

当社は、世界の製造業とともに世界を形作っています。Uddeholmは、日常生活で使用される製品を形作る鉄鋼を製造しています。人々と環境に公平で、持続可能に製造を行います。世界を形作り続けるために
- 今日、そしてこれからの世代のために。